福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社レイメイ藤井
代表者名	藤井　章生
所在地	福岡市博多区古門戸町 5-15
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	卸売業、小売業
電話番号	092-262-2222
ホームページ	https://www.raymay.co.jp/

Well-being 向上に向けた取組み	.当社独自の「オピニオンレター」（社員が拠店長にご意見する制度）を活用してビジネスライフにおける意見や改善要望、問題点等を定期的に拾い上げ改善に努めている。 ・社内健康増進活動として、「ある活　123」（ふくおか散歩アプリを活用した 123 日間の歩数を競い合う）イベントを実施。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート　　事業者名：株式会社レイメイ藤井

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	従業員の人事評価には、男女を区別せずグレード(資格)に応じた1年間の成長度合いを評価項目としてジェンダー平等を目指している。また障害者雇用として「福岡県障がい者雇用拡大事業」と連携して就職説明会等を開催し、雇用拡大を進めている。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	2020年7月にテレワーク勤務ガイドラインを作成し、テレワークの推進・直行直帰による業務効率化・web会議等の活用など多様な働き方への社内整備にも力を入れている。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	ハラスメント及び公益通報制度を策定。専用ホットライン・メールにて相談窓口を設け通達や社内ポスターで周知するとともに研修等にて啓発活動を行っている。また年2回実施する所属長へ直接ご意見する「オピニオンレター」を活用。風通しの良い社内環境整備を進めている。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	定期健康診断およびストレスチェックを毎年実施して、従業員全員が働きやすい職場づくりを進めている。また健康増進活動として本年は「ある活123」と称してチーム制による123日間の歩数を競い合うイベントを開催。(「ふくおか散歩」アプリを活用)			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	社内外の階層別研修や目的別研修を定期的に実施し、従業員のスキルアップ、啓発教育を行っている。また従業員には専門知識・技術の習得を奨励するため、制度として専門資格手当を認めている。毎年インターンシップの受入れも実施。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	オフィスのレイアウト変更や移転工事で不要となった家具は廃棄処分せず、当社で引き取ってリサイクルし、再販活動する仕組みを「リユースる」という部署にて取り組んでいる。資源の再活用といった循環型サイクルにより、廃棄物の抑制、CO2削減を進めている。			○			○					○	○		○				
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	LED照明等の省エネ設備導入はもとより、コピー用紙や封筒等社内で使用する紙類は「再生紙」や「FSC認証紙」を取り扱うことで環境への配慮を行っている。またリサイクル可能な物(紙・段ボール・空き缶・ペットボトル等)の分別を徹底し、資源再生の推進を図っている。							○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	文具メーカー部門では、回収ペットボトルを再利用した文房具製品(定規や下敷き)の制作や本来焼却処分されるオリーブの葉から抽出したエッセンスで革を鞣し、環境に優しい革手帳(システム手帳)を制作・販売している。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			当社商材で取り扱っている「空気から水を生成するウォーターサーバー」を設置してペットボトルゴミ削減によるCO2削減(マイ水筒・マイコップの活用)の推進を行っている。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	社内で部署横断型のプロジェクトチームを作り、商品の品質向上や新たなサービス提供に向けた体制を整備している。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	再生紙やリサイクル活用による環境配慮商品等の取扱いをメーカーや仕入先と協業しながら事業を行っている。また福岡県の教育庁と連携し、長期社会体験研修として毎年3ヶ月間の高校教諭の受入れを実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		プライバシ―ポリシー並びにセキュリティポリシーを当社ホームページに掲載。個人情報の収集の目的と保護について広く開示を行っている。また個人情報保護に向けた社内教育についても日々周知を行っている。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		総務部内にコンプライアンス・社内相談窓口等の担当を設け、従業員の教育と遵守体制を整えている。また内部監査室にて各拠店における実施状況や体制・仕組みのチェックを適宜行い、PDCAサイクルを回している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	当社の経営理念「知的生産をサポートする」のとおり、知的生産に関わる事業を通じて、知的環境づくり・知的文化の向上に資するパイオニアの役割を果たし、持続可能な教育・社会・環境に貢献できる企業を目指すため、日々社内浸透を図っている。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	総務部内にはBCP対策部門を有し、安否確認システムの活用(訓練)、防災訓練等の実施、システム障害に対応するためのセキュリティソフト導入ならびに保険の活用等により事業継続にかかる問題解決に取り組んでいる。									○		○		○			○	